

## 千葉菌類談話会通信 32号 目次

■ 菌類観察会&スライド会に参加して	金城 典子	4
■ キクバナイグチは3種に分けられた!	吹春 公子	5
■ 柏市手賀の丘公園で見られるきのこ	氏家 文憲	6
■ 印旛沼のヒラタケ	高橋 勝雄	11
■ 竹材2件 採集用鎌と竹ペラ	高橋 勝雄	12
■ マツカサタケの意外な一面 … 続報: p44	淵澤 功	14
■ 松穂にエノキタケやヒラタケを生やしてなにになるの?	萩本 宏	16
■ 開催報告「PAPER MUSHROOM/ペーパー・マッシュルーム」	吹春 公子	31
■ はじめて見たきのこ	波部 健	32
■ 焼け跡のきのこ	大久保 泰和	34
■ ショウガ畑でつかまえて	帆足 美伸	37
■ 糞生菌類やアンモニア菌類などについて ーへんてこな所に生えるヒトヨタケ類を調べるー	吹春 俊光	40
■ キノコの胞子は気流にのって飛ぶのか?	小倉 豊史	45
■ とあるアマチュアの文献索引(インデックス)	中島 淳志	48
■ 科学の王子様のキスはリンネの呪縛を解き放てるか	林 智絵	53
■ 食べ放題きのこ合宿	日比 九朗	57
■ 奥深き Shiitake	山本 充弘	62
■ 八十八歳のきのこ人生 ー弟子から見た恩師・今関六也先生のことー	古川 久彦	65
■ 我が家の読み聞かせ	中田 真也子	72
■ きのこ・かび 関連図書の紹介	吹春 俊光	80
■ 2015年度行事報告	吉田悦子・吹春公子	88
■ 投稿のご案内		93

### 表紙に寄せて

アルシュ紙を前に普段使いのペンを握りしめて、きのこを一つ描いてみる。ペスが赴くまま下描きなしの一発描き。ひだを重ねているうちに調子が出てくる。一つまた一つときのこが重なり、集まった。水を引いてにじむ色。きのこづくし。

(片山 周子)

